

ノロウイルス

【特徴】

ノロウイルスは、冬季を中心に年間を通じて胃腸炎症状を起こす。

二枚貝が原因として疑われる食中毒事例があるほか、調理従事者の手指等を介して食品が汚染されたことによるものが多い。

また、10～100個程度のウイルスで発症することから、感染力が強く、人から人へ感染する場合もある。

【潜伏期間・症状】

- 潜伏期間 12～48時間
- 主な症状 下痢、おう吐、腹痛、発熱など

【感染経路】

- 飛沫感染、接触感染、経口（糞口）感染
- 貝などの食品を介しての感染もある
- 感染者の便やおう吐物に接触したり飛散したりすることにより、二次感染を起こすことがある

【予防の方法】

1. 食品は85℃、1分以上の過熱が有効。
2. トイレの後や、調理をする際には、手洗いを十分に行う。
3. 下痢やおう吐などの症状がある場合は、食品を直接取り扱う作業には従事しない。
4. 調理器具は十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウムなどで殺菌する。